



セラピードッグ
きび
14歳(現在)

ドッグ豆知識

ドッグの病気や健康、性質などに関する豆知識をご紹介します。



若い頃のきび

シニア犬(老犬)って何歳から？

シニア期に入ると何がかわる？

犬は一般的に7歳頃からシニア期に移行するといわれています。
犬も人間と同じように加齢とともに身体機能が衰え病気にもかかりやすくなります。

老いのサイン

見た目の変化

- 目が白く濁ってくる
- 白髪が増える・毛づやが悪くなる
- 口臭がきつくなる
- 足が細くなりお尻が落ちてくる

行動の変化

- 階段や段差を嫌がるようになる
- 呼びかけへの反応や動きが鈍くなる
- 食事に時間がかかる
- 寝ている時間が多くなる
- 粗相をしてしまう

シニア期に大切なこと

- 運動…筋肉量・骨量の減少速度を和らげるためにも、無理のない範囲で運動させること。
- 食事…若い頃と比べて必要な栄養の量や内臓機能の働きが大きく変化してきます。シニア期には専用の総合栄養食への切り替えが必要です。
- 医療…半年に1回、少なくとも1年に1回の健康診断が推奨されています。健康診断で早期発見・早期治療！
- 生活環境…室内の安全対策(怪我や事故を未然に防ぐ)、過ごしやすい空間作り

犬の1日の体感時間は人間の時間で言い換えると約7時間といわれています。
人間にとっての1日は犬にとっての3日半を過ごしていることになります。
変化に早めに気づきすぐに対処することで老化の進行を遅らせることができます。
その為にも日頃から愛犬とのスキンシップをかかさずに変化を見逃さないようにしましょう。

有限会社かりゆし ドッグセラピー事業部

〒701-1333 岡山県岡山市北区立田 587 番地

TEL. 086-905-0111(直通)

FAX. 086-287-8261

E-mail. dog_therapy@ikenaga-group.jp



HP. <http://www.therapydog.jp>

Instagram はじめました！

Dog_therapy_ikenaga



燦々 sansan

有限会社かりゆし

ドッグセラピー事業部 会報誌

Vol.38 / 夏号
2023年

- オレンジカフェ開催
- 活動報告
 - ・個別対応
 - ・専門学校講義
 - ・集団セラピー(レクリエーション)
- ドッグ豆知識

【NEWS】

癒しのカフェ in ケアハウスあしもりが開催されました

令和5年3月17日(金)、足守地区の第1回目のオレンジカフェが開催され、ドッグを交えたレクリエーション・触れ合いを行いました。この日は「なつ・メイ」の2頭が参加しました。参加者様にご挨拶をした後、みなさんにはお花紙を1枚ずつ開いてもらい綺麗な花を咲かせてもらいました。完成したお花をドッグが着ている服に貼り付けてもらい可愛い洋服を完成させて頂きました。ドッグたちは作業の様子を覗き込んでみたり、完成したお花を服に貼ってもらったりとみなさんと触れ合う時間を過ごしました。多くの方が参加してくださりたくさんの笑顔に溢れ、「楽しかった」「また来たい」という声がありました。オレンジカフェでは毎回違うワークやゲームをドッグと一緒に体験していただき楽しんでいただいています。



オレンジカフェとは、認知症の人とその家族、認知症に興味のある方、地域住民などなたでも気軽に参加できる集いの場所として開催しています。これは岡山市の「認知症施策の指針(岡山市版オレンジプラン)」に基づく民間委託事業です。現在当事業部では2施設のオレンジカフェで集団ドッグセラピーを実施しています。

【おかやまオレンジカフェ「ほっとりんく」】

開催日時 毎月第4水曜日 13時~15時

※ドッグセラピーは13時20分頃から30分程度

場所 いきがライフたかまつ

岡山市北区立田 586-1

Tel.086-287-8880

【癒しのカフェ in ケアハウスあしもり】

開催日時 毎月第3金曜日 14時~16時

※ドッグセラピーは14時40分頃から30分程度

場所 ケアハウスあしもり

岡山市北区下足守 46

Tel.086-295-9800

【活動報告】

個別対応

認知症のある入所者様・利用者様の不穏症状など「突然起こる不安」に対し、ドッグと共に駆けつけ、その方・その時に応じた個別対応を行います。

Iさん（94歳・男性）

- アートライフ
- セラピードッグ：メイ



メイ Mei
ポメラニアン

ベッドの上での生活が主となっていて、発語や表情変化・活動量も少なくなっている。集団セラピーでドッグと触れ合うときは笑顔になり、発語も増えたため定期的に訪問しドッグと触れ合う機会を増やしました。セラピー中はメイを撫でたり、メイの顔を見ようと自らの頭を持ち上げのぞき込んだりと、積極的に身体を動かす様子がみられました。昔飼っていた犬の話やメイについての話など会話も増え「ベッドから落ちるなよ」などメイを気づかう発言などもされるようになりました。職員さんから「メイちゃんのおかげで元気が出たみたいでお風呂に入ることができました」「ベッドから離床してご飯を食べることができました」と嬉しい報告がありました。

Nさん（89歳・女性）

- 高松アクティブホーム DS
- セラピードッグ：メイ

デイサービスをご利用の日にお迎えに行くと玄関から動かなくなってしまい職員の説得にも耳を傾けない。昔、犬を飼われていて犬好きなこともありメイと一緒に誘い出しに行くと笑顔になり自ら腰を上げ車に乗る姿がみられた。後日、集団セラピーを実施。ドッグが来ることを楽しみに待つ様子がみられました。

専門学校講演会



岡山市にある福祉専門学校へ講演会に行ってきました。今回は当事業部におけるドッグセラピーについてをプロジェクターを使って説明したり、実際に行ったセラピーの症例動画を見ていただきました。



また、ドッグを交えたレクリエーションも体験していただきました。生徒さんからは「もっと多くの施設でドッグセラピーが導入されてほしいと思った」「一緒にレクリエーションをして全員が笑顔になっていた」などの声をいただきました。

*生徒さんにおこなってもらうレクリエーションは利用者さんにおこなってもらうより難しくしています。
例：手でしてもらうことを足でしてもらう
利き手ではない方で投げる など

色玉入れ

ドッグが色のついた箱を引っ張る。箱と同じ色の玉を入れる。



花輪送り

花輪を隣の人へ渡していき最後はドッグの首に付ける。どちらが早く届けられるか競争!



集団セラピー



【触れ合い】利用者様がいつも過ごされているホールや居室にうかがい触れ合いを行っています。

【レクリエーション】2~3回に1度のペースで「足を動かす内容で」「犬におやつをあげたい」など各事業所の要望にこたえる形でおこなっています。

— レクリエーションの具体的な内容 —

宝探しゲーム

目的

- 手指・上肢の運動
- 他の利用者様とのコミュニケーションの向上

準備する物

- 音楽
- 音の鳴るおもちゃ



方法

- ① 円になって座ってもらい音楽が流れている間おもちゃを隣へと回してもらう
- ② 音楽が止まったらドッグ達がおもちゃを探す
- ③ 見つけたらおもちゃを投げてもらう

☑ 見つからない場合はおもちゃを鳴らしてもらったり、名前を呼んだりしてもらう



※引き続き感染対策に取り組み、集団セラピーを行っています。